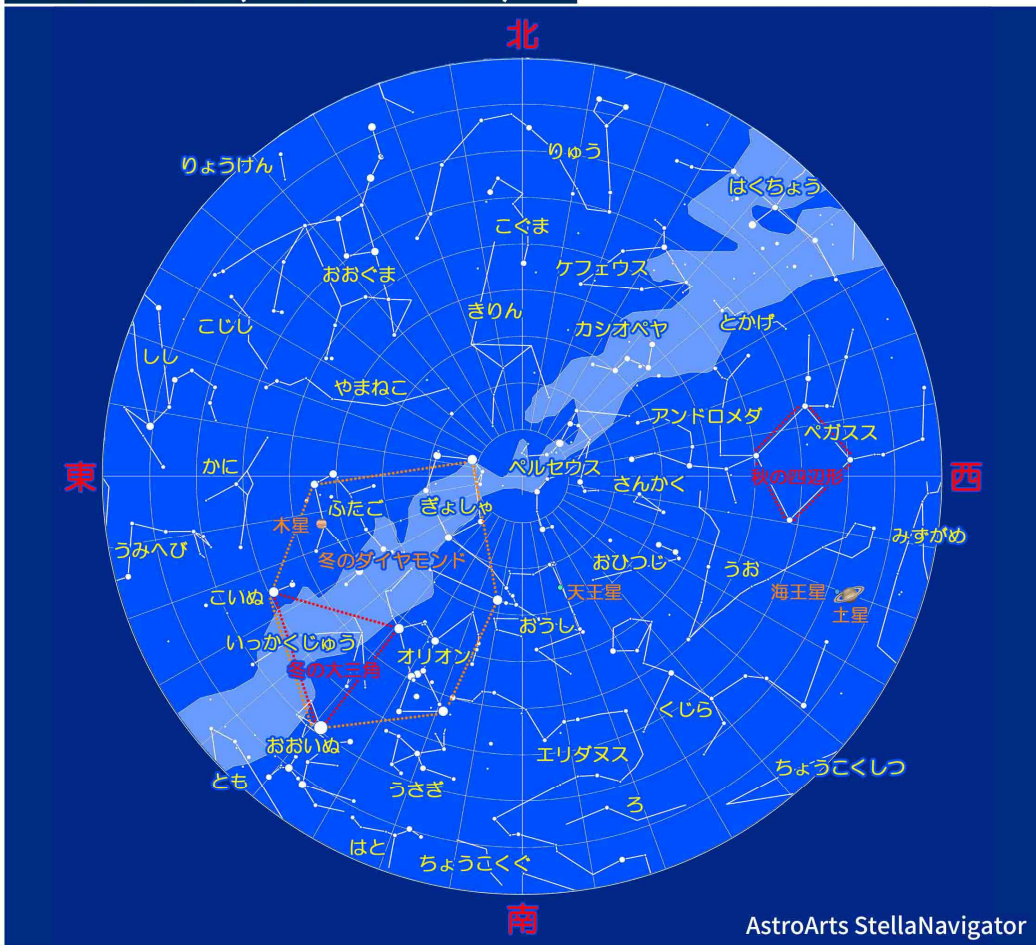




# 銀河の森天文台 2026年1月みどころ天体情報

## 1月の星空(15日 20:00頃)



## 木星



太陽系最大の惑星である木星は、表面の縞模様が特徴的です。木星の自転は約10時間で1回転と非常に速いため、東西方向に非常に強い風が発生し、雲が長く伸びた暗い帯と明るい帯に分けられ縞模様となっています。また、大赤斑と呼ばれる巨大な渦も存在し、木星が地球に向けている面とシーイング次第では、115cm大型望遠鏡でも赤茶色の楕円形の模様として観察することができます。

太陽からの距離：約7億8000万km

## 月

	出	没
3日	満月 15:23	07:02
11日	下弦 --:--	10:42
19日	新月 07:18	16:34
26日	上弦 09:56	--:--

天文台から月を見ることができるのは4日および23～31日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。  
距離：約38万km

## M44(散開星団)

プレセペ星団と呼ばれ、肉眼でも見ることが出来ます。星団であることを発見したのは、ガリレオ・ガリレイと言われています。アイヌも古くからこの星団を知っており、エルムン・プ（ねずみの倉）と呼んでいました。

距離：約590光年

## M42(散光星雲)

オリオン大星雲と呼ばれ冬を代表する天体のひとつです。望遠鏡では、星雲の複雑な模様を観察することができます。中心部には生まれたばかりの4つの星（トラペジウム）が四角く並んでいます。

距離：約1400光年

## その他おすすめ

M1（超新星残骸）  
M37（散開星団）  
M79（球状星団）  
M81（銀河）  
NGC2392（惑星状星雲）  
おおいて座145番星（重星）  
オリオン座 $\sigma$ 星（重星）  
シリウス（恒星）  
天王星

## イベント・天文現象

### 1月

～3(土) 年末年始休館  
4(日) しぶんぎ座流星群が極大  
4(日)～ 2025年度銀河の森天文台写真展作品募集開始  
5(月) 小寒  
7(水) レグルス食（未明）  
10(土) 木星が衝  
14(水)～25(日) 冬の大三角と天体観望会  
20(火) 大寒  
23(金) 月と土星が接近（夕方～宵）

### 2月

1(日) 月とプレセペ星団が大接近（夕方～翌明け方）  
4(水) 立春  
4(水)～15(日) 木星と冬の天体観望会  
7(土) しばれフェスティバル開催に伴い、  
22時30分まで延長開館  
18(水) 月と金星が大接近（夕方）  
19(木) 雨水、月と水星が接近（夕方～宵）  
20(金) 水星が東方最大離角  
24(火) 月面X  
～28(土) 2025年度銀河の森天文台写真展作品募集終了

## 開館情報

### 1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

### 開館時間

14:00～22:30  
(4月～9月)  
13:00～21:30  
(10月～3月)

休館日